



主催：応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会

## M&BE 新分野開拓研究会 2022 「有機系多孔構造体が導く精密分子集積と エレクトロニクス・イオニクス」

有機分子をモノマーとする結晶性多孔構造体—多孔性配位高分子 (PCP) / 金属有機構造体 (MOF)、共有結合性有機構造体 (COF)、水素結合性有機構造体 (HOF) など—は、優れた構造秩序と高い設計自由度を兼ね備えた化合物群です。これらの構造体では、有機ユニットの精密な集積と分子やイオンがアクセス可能な内部空間の創出とが同時に実現されており、優れたエレクトロニクス・イオニクス材料として、またそれらを複合したイオントロニクス材料としての展開も大いに期待されます。本研究会では、有機系多孔構造体に関して先進的な研究を展開されている講師の方々をお招きし、構造・機能設計の考え方や最新の研究成果、今後の開発展望などについてご講演いただきます。

日時：2022年9月16日（金）13:00～16:50

場所：オンライン開催（Zoom ウェビナー）

### ■ プログラム：

|                     |  |
|---------------------|--|
| 13:00<br>～<br>13:05 | 開会挨拶   |
| 13:05<br>～<br>13:45 | 機能性デバイスの開発に向けた金属有機構造体(MOF)の配向制御およびパターンニング<br>岡田 健司（大阪公立大学） |
| 13:45<br>～<br>14:25 | 結晶性多孔体中における超多価イオン伝導性<br>貞清 正彰（東京理科大学）                      |
| 14:25<br>～<br>15:05 | 機械学習を活用した含硫黄半導体 MOF の開発<br>田中 大輔（関西学院大学）                   |
| 15:05<br>～<br>15:25 | ～休憩～   |
| 15:25<br>～<br>16:05 | 水素結合で分子をつなげた多孔質構造体の構造・機能設計<br>久木 一郎（大阪大学）                  |
| 16:05<br>～<br>16:45 | 共有結合性有機構造体(COF)を利用した二次元高分子の合成とその応用開発<br>松本 道生（物質・材料研究機構）   |
| 16:45<br>～<br>16:50 | 閉会挨拶   |

■ 参加費（テキスト代込み）：1000 円（会員は無料）  
本研究会のテキストは、M&BE が発行する会誌 No.3 に含まれているものです。会員の参加者は、M&BE のウェブサイト (<https://annex.jsap.or.jp/support/division/MandBE/>) から分科会誌にアクセスしてダウンロードください。

M&BE 非会員の参加者には、参加登録の後に会誌 No.3 をメールでお送りします。M&BE にご入会頂くと、分科会誌（年 4 回発行）や関連研究会の参加費減額などのサービスを受けることができますので、この機会に応用物理学会、M&BE 分科会への入会を是非ご検討ください。

参考：<https://www.jsap.or.jp/membership-individuals>

■ 定員：500 名

■ 参加申し込み方法：

【会員】：M&BE で配信しています【M&BE 速報】に記載の Zoom ウェビナー登録サイト ([https://riken-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_agWvDi6GSLeuaWzr3ZMq1w](https://riken-jp.zoom.us/webinar/register/WN_agWvDi6GSLeuaWzr3ZMq1w)) にてお手続きください。その後、研究会の Zoom ウェビナーのアドレスがメールで送られてきます。研究会当日の開始 1 時間前にはウェビナーをオープンしますので、アクセスください。

【非会員】：参加費の振り込みと登録が必要です。Peatix のイベントページ (<http://ptix.at/AeHwnW>) にて参加費の振り込み手続きを行うと、Zoom ウェビナー登録サイトのアドレス情報がメールで送られてきます。以降は会員と同様にお手続きいただき、研究会当日に研究会用ウェビナーへアクセスください。

<連絡先>

鈴木 充朗（阪大）

E-mail: [msuzuki@chem.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:msuzuki@chem.eng.osaka-u.ac.jp)

■ 世話人：

鈴木 充朗（阪大）・中野 恭兵（理研）